

三峰川総合開発NEWS



国土交通省 三峰川総合開発工事事務所

News Release

2018/10/3

台風24号 美和ダムの堆砂を約2万8千 m^3 (ダンプトラック約5千6百台分) 抑制！！ 土砂バイパストンネルの運用

1. 件 名 台風24号における美和ダム土砂バイパス施設による排砂量の推定値
2. 概 要 9月30日午後9時00分から10月1日午後4時50分まで約20時間、美和ダムの土砂バイパス施設の運用（放流・排砂）を行いました。
今回の試験運用では、美和ダムに流入する土砂（ウォッシュロード）の72%にあたる、約2万8千 m^3 を美和ダムの下流へバイパスすることができたと推定されます。
試験運用は、美和ダム貯水池への土砂流入を抑制するとともに土砂移動の連続性を確保するために行うものです。
※土砂抑制量の推定値について
現地を設置した濁度計と流入量により推定値を報告するものです。
後日、浮遊物質（SS）の分析結果より土砂量を算定した値を報告します。
3. 資 料 別紙のとおり
4. 解 禁 指定なし
5. 配布先 伊那市役所記者クラブ

美和ダムでは、河道整備等と併せて戦後最大規模の洪水を安全に流下させることを目標とした洪水調節機能の強化、洪水調節機能の保全（堆砂対策）のため、三峰川総合開発事業を実施中です。

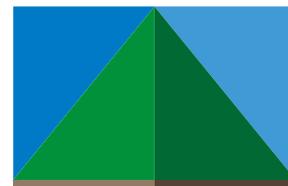
問い合わせ先

国土交通省 三峰川総合開発工事事務所
副所長 尾畑 伸之（おはた）
調査課長 鬼頭 政徳（きとう）

TEL 0265-98-2922

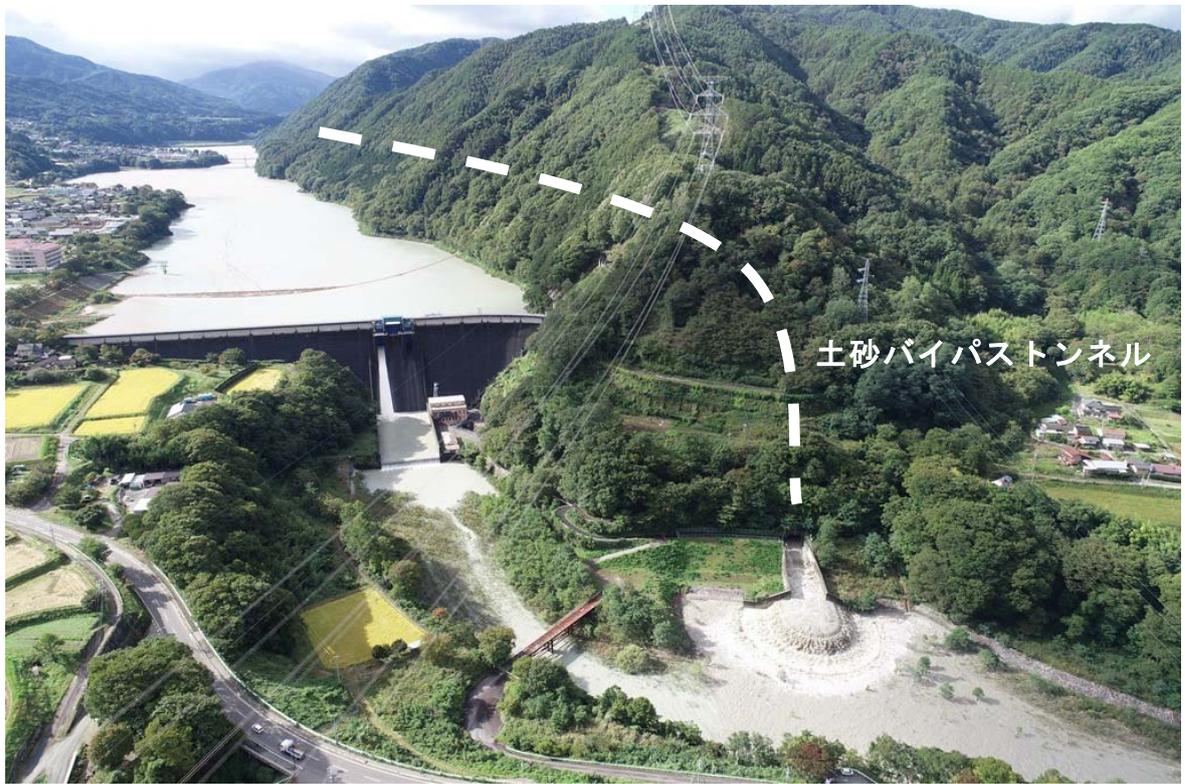
〒396-0402 長野県伊那市長谷溝口1527

FAX 0265-98-2329



土木の日
DOBOKU DAY
NOVEMBER 18

【土砂バイパストンネル吐口】



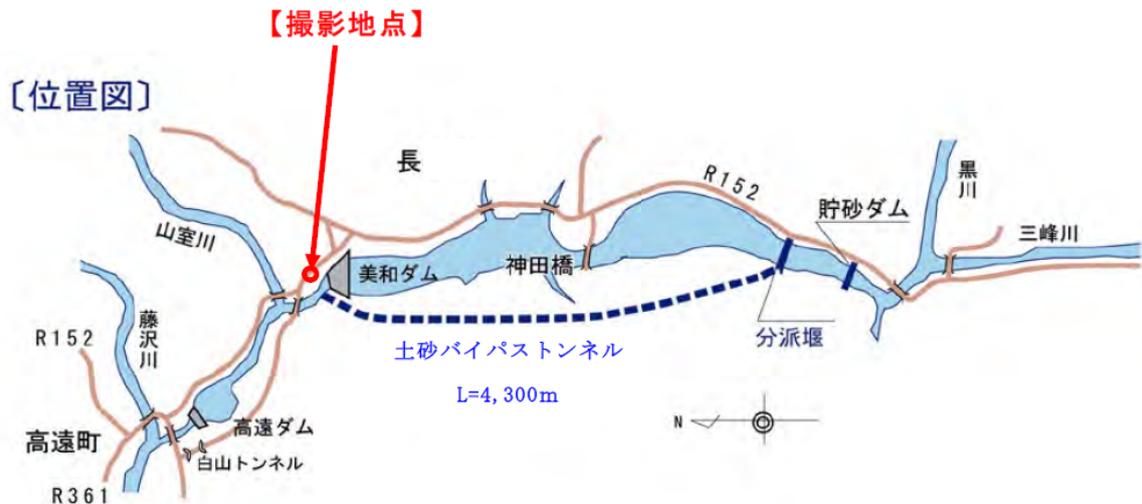
放流中の状況 平成 30 年 10 月 1 日 8 時 34 分
バイパス放流量 毎秒約 125m³



放流中の状況 (拡大)



放流していない状況



三峰川総合開発事業（美和ダム再開発） 土砂バイパスの試験運用結果

美和ダムでは、再開発事業として「洪水調節機能の強化」と「貯水池堆砂対策（洪水調節機能の保全）」を実施中です。貯水池堆砂対策として整備した土砂バイパス施設は、洪水時に流入した土砂をトンネルによりダムを迂回させることで、美和ダムの堆砂を抑制するものです。平成17年に完成して以来試験運用を行っており、台風24号に伴う出水において19回目（今年度3回目）の試験運用を行いました。

バイパス放流の速報

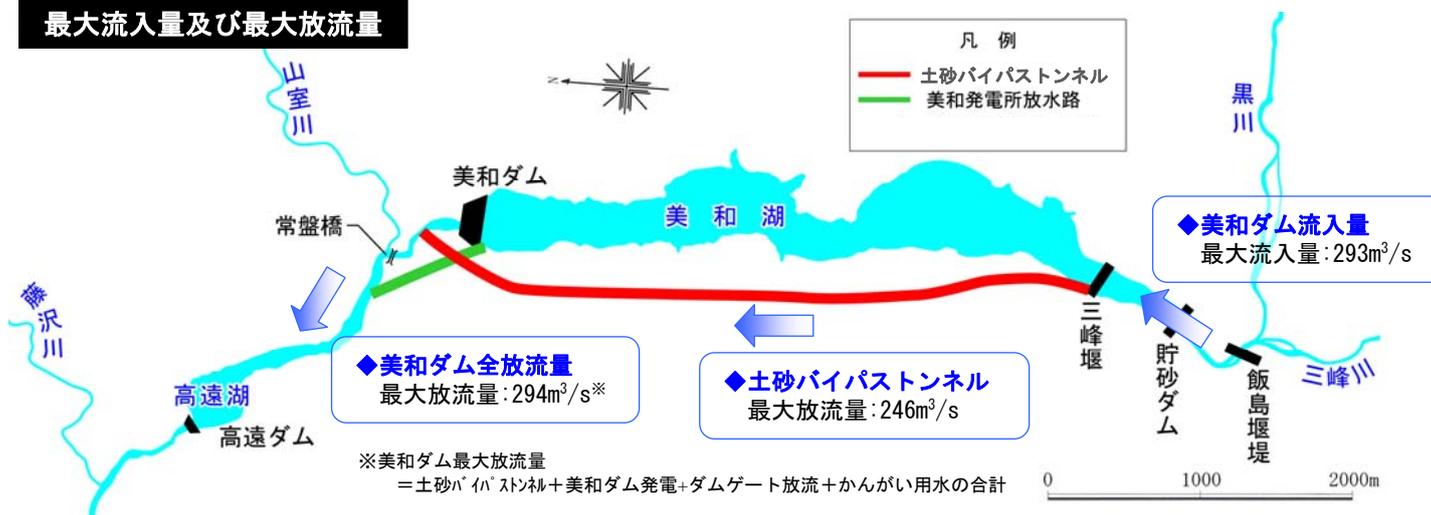
※注意：数値は推定値であり、今後変更になる場合があります。

美和ダムでは、総雨量130mm（2018/9/29 5:50～10/1 8:00）の雨が降り、最大流入量が293m³/sの出水となりました。このため、2018/9/30 21:00～10/1 16:50の約20時間、美和ダム貯水池への土砂流入を抑制するとともに土砂移動の連続性を確保するため、土砂バイパストンネルから最大246m³/sの放流を行いました。

【速報値】

土砂バイパス最大放流量	: 246 m ³ /s (2018/10/1 2:20)
美和ダム最大放流量*	: 294 m ³ /s (2018/10/1 3:10)
美和ダム最大流入量	: 293 m ³ /s (2018/10/1 3:00)
総雨量（流域平均）	: 130 mm (2018/9/29 5:50～10/1 8:00)

最大流入量及び最大放流量



土砂(ウォッシュロード※)の動き

※流入土砂のうち、流水に溶け込んでいる移動する細かな土砂で、美和ダムでは平均粒径0.017mm程度の土砂です。

美和ダムに、流入した土砂(ウォッシュロード)の約72%にあたる約2.8万m³(ダンプトラック5千6百台分)を美和ダムの下流へバイパスすることができました。

バイパス土砂量【推定値】（平成30年9月 台風24号出水）

